

これまでに食道癌の治療を受けた患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院病理・腫瘍学講座では「食道癌微小環境のバイオマーカー同定による癌生物学や治療学への応用」という研究を行っております。この研究は、食道癌を対象とし、癌細胞に加えて癌微小環境における癌関連線維芽細胞や免疫細胞などの非癌細胞に着目し、癌悪性化や治療抵抗性獲得に関係するバイオマーカーを同定することを目指しています。そのため、過去に食道癌の治療を受けた患者さんの手術病理組織検体およびカルテ等の治療データを使用させていただきます。ここから得られる知見は、癌微小環境に着目した診断・治療の発展に貢献する可能性があります。

○この研究の対象となる患者さんは、食道癌の方で、2012年4月～2025年4月30日までに当院食道・胃外科で外科手術治療（および検査）を受けた方です。

・利用させていただく検体は下記です。

病理組織検体、生検病理組織検体

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

患者基本情報：診断名、年齢、性別、喫煙歴、家族歴、既往歴 疾患情報：病理組織診断、病期、原発部位、治療内容、癌既往歴、臨床経過 画像検査所見：CT、MRI、PET/CT、超音波などの診断評価用画像データ

○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 研究実施許可日 ～ 西暦2028年3月31日まで

・研究責任者 折茂 彰

○過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、日本学術振興会科学研究費（基盤研究C 癌微小環境由来の食道癌転移抑制シグナル制御機構の解明による治療への応用（21K08693）”代表：橋本 貴史）および順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座の学内研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座

電話：03-5802-1039 (内線) 3525

研究担当者：折茂 彰